

本気田っちゃ、 スマイルもりもりプロジェクト



東北学院大学教養学部 地域構想学科 3年

織笠 徹

成田 龍

佐藤 圭慈

1. 概要

- 愛称「スマもり」
- 昨年度に始まり、2年目を迎えた
- 今年度は3年生3名、4年生7名で活動
- 場所 泉区本田町集会所
- 参加者 約15名

2. プロジェクトの狙い

- 介護予防自主グループ「ぬくもり会」における介護予防運動の取り組みをサポートし、会員の参加意識を高めることを目的としている。
- 長期的な狙いとしては、学生たちが参画しなくても地域の方々が中心となって主体的な運営が継続できることを目標としている。

3. プロジェクトの内容

- 毎月第2木曜日に本田町集会所にて「スマもり」の開催（今年度は6回）
- 泉中央まちなかカフェへの出張（1回）
- 「スマもり通信」の作成、発行

4. 活動内容

- ゼミの時間 ➡ ▪ タイムスケジュール作成、運動指導内容の練習、レクリエーションの考案
- 当日... ストレッチ、体操、レクリエーションの進行、実施

5. 活動事例

- 13:00 スマもり開始、挨拶
- 13:05 ストレッチ
- 13:20 もみじ（手ぬぐいを使った運動）
- 13:30 AKB体操・KIYOSHI体操
- 13:45 レクリエーション（ボッチャ）
- 14:10 ティータイム

（11月9日（木）の場合）

6. 新たな取り組み

① K I Y O S H I 体操

- 椅子に座った状態＋手ぬぐいを使う＋参加者に馴染みのある曲



- 氷川きよし「きよしのズンドコ節」
- 学生が振り付けを考案、練習

→ 7月のスマもりで初披露

②レクリエーションの充実

- 昨年度の課題＝「メニューのマンネリ化」



- 今年度は毎月の活動で様々なレクリエーションを導入
- ボッチャ、輪投げ、玉入れ、ボーリング、爆弾ゲームなど

③事業の拡大

- この活動をより多くの地域住民に知ってもらいたい



- まちなかカフェ（泉中央地区）への出張

- 「スマもり通信」の作成

- ➡本田町集会所内での掲示
- ➡本田町町内全戸への回覧



7. 効果（アンケート結果）

8. 2年目の活動を終えて

活動の成果

- ・ 学生と会員が一体となって運動の楽しさを実感
- ・ 会員の運動意識の向上
- ・ 参加者の増加、事業の拡大

次年度に向けての課題

- ・ 「月1回以上」
- ・ 学生の運動指導スキルの習得



ご清聴ありがとうございました